

病院理念

- 一. 私たちは「患者さん中心の医療」を実践します
- 一. 私たちは患者さんの安心と信頼を得るように努力します
- 一. 私たちは医療人としての誇りと自信を持って行動します



病院職員によるボランティア清掃活動
「グリーン作戦」風景

コラム

1. 自分の人生の終わりについて考え、話し合っておくこと
～ACP(アドバンス・ケア・プランニング)とは～
2. もしものことを考える人生会議「私のリビングウイル」

トピックス

がん患者相談会のご案内
治療と仕事の両立のための工夫
お仕事紹介～臨床工学技術科～
看護職業体験を終えて

イベント紹介

院内コンサート

お知らせ

公開医療福祉講座／がんサロン「にじの会」のご案内
保険証の確認について／面会時間のご案内／診療日カレンダー

自分の人生の終わりについて考え、話し合っておくこと

～ ACP (アドバンス・ケア・プランニング) とは～

副院長 兼 第1診療部長 兼 臨床研修部長 兼
血液細胞療法センター長 兼 外来化学療法センター長 兼
血液・腫瘍内科代表部長 兼 輸血部部长 兼 臨床検査科部長

河野 彰夫



「もしものときのこと」を考えたことがありますか？「もしものとき」というのは、「大きな病気やケガをして、命の危険が迫った状態」のことです。日本の健康寿命は世界トップレベルで、人生100年時代といわれるようになりましたが、どんな人にも必ず死は訪れます。しかし、自分の人生の幕引きのシナリオを予め決めておくことはできません。実は、命の危険が迫った状態になると約70%の人が、その後の治療やケアについて自分で決めたり、人に伝えたりすることができなくなるといわれています。つまり、多くの人は人生を終えようとしている場面で、自分の希望とは異なる治療やケアを受けることになる可能性があるということです。

それでは、命の危険が迫った状態になったときに、どうしたら自分の希望に沿った治療やケアを受けることができるのでしょうか？ その一つの取り組みが「ACP (アドバンス・ケア・プランニング)」です。ACPとは、「もしものとき」に備えて、自分の大切にしていることや望み、どのような医療やケアを望んでいるかについて、あらかじめ自分自身で考え、信頼できる人たちと話し合い、理解を得て共有しておくことです。

まずは「もしものときのこと」を考えてみましょう。生きられる時間が残り少なくなった場合、どのように過ごしたいですか？そのとき、あなたにとって大切なことはどんなことでしょうか？ある人は、たとえ目覚めることがなくなっても、機械の助けを借りて少しでも長く生きたいと思うかもしれません。ある人は、たとえ命が短くなっても、できる限り苦痛を取り除く治療を受けながら、少しでも自分らしい生活を続けたいと思うかもしれません。あなたの場合、どうでしょうか？次に、自分の考えを信頼している人たちと話し合い、記録しておきましょう。自分なりの希望があっても、自分の胸の中だけにしまってあっても、いざ命の危険がさし迫ったときに伝えることができなくなるかもしれません。自分の考えをわかってくれている人がいれば、自分の気持ちを代弁して、医療者に伝えてくれます。記録に残っていれば、あなたの気持ちを医療者みんなで共有することができます。

「もしものときのこと」を話題にすると、周りの人たちは「縁起でもない」と言うかもしれませんが、しかし、突然あなたに命の危険がさし迫り、あなたが自分の気持ちを伝えられない状況になったとき、あなたの希望がわからないとあなたを支える人たちは悩むことになります。あなたの大切な人たちが、あなたがどのように人生を終えるかについて、重大な決断をしなければならなくなるかもしれませんし、その決断について後々までずっと責任を感じることになるかもしれません。自分のためにも、周りの人たちのためにも、このACPは重要なのです。

愛知県は「人生の最終段階における医療体制整備事業」の一環として「あいちACPプロジェクト」を展開しています。当院は尾張北部医療圏の拠点として研修会を開催するなど、地域の医療施設等と連携して意思決定支援の体制整備に努めています。ACPについてお知りになりたいことがあれば、お気軽に当院患者支援相談センターにお問い合わせください。

もしものことを考える 人生会議

「私のリビングウイル」



地域連携部 地域医療福祉連携室長 野田 智子

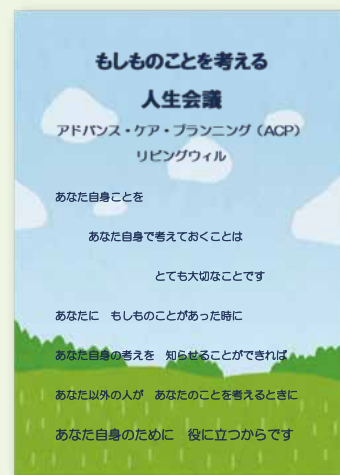
昨年11月に厚生労働省は、人生の最終段階における医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合う取り組み「ACP（アドバンス・ケア・プランニング）」について、愛称を募集し「人生会議」に決定しました。この名前で国民のACPという言葉の意味の認知度向上を図ろうと考えています。

こうした「もしものときのこと」を考えて自分の医療に対する考えを事前に書面に残しておくものを「リビングウイル」といいます。回復が見込めない状態で、自分の意思を表明できないときに、延命措置をどうしたいか、などの意向を事前に書き記しておくものです。意思決定できない状態になったときに、大切な家族や周囲の人が自分の医療の実施について、悩み、考えていくことをサポートするためにも、自らの考え方をあらかじめ示しておく機会は大切です。

江南厚生病院では、患者さんやご家族、地域住民の方々に周知する目的で、外来や病棟のパンフレットコーナーに「もしものことを考える 人生会議」というリーフレットを配置しています。この中に「私のリビングウイル」という用紙があり、この書面を作成するにあたっての考え方、大切な人との共有のしかたなどが具体的に記載されています。表明された意思是、病院の診療記録の中に保存され、その時点での個人の考え方を残していきます。その考えは変わっていくことを前提にしていますので、変更があるたびに記録に残します。また、本人の同意のうえで、他機関にもその意思をつないでいくことも、これからの医療の中では大切なことになっていくと思います。また、周囲の家族の方とも一緒に考えることで、本人にとっての最善とは何か、を考えるきっかけになっていければと考えています。

病院の職員がこのリーフレットをお渡しして患者さんにご説明させていただく機会もこれから増えていくと思います。また、地域の医療機関でも同じリーフレットの配置を検討していただいています。「私のリビングウイル」は、医療のことを記載する用紙になっています。しかしながら、この用紙をもとに自分のことを考えると、医療のことだけでなく、日常において伝えておくべきことを改めて考え、表明しておくことも大切だと考えることにつながります。

厚生労働省は、11月30日（いい看取り・看取られ）を「人生会議の日」とし、人生の最終段階における医療・ケアについて考える日としています。「人生会議」という名称には、本人が周囲の人たちと話し合うプロセスを含んでいることから「会議」になっています。ぜひ、一度手に取っていただき、持ち帰って自分自身が考えるきっかけとしてください。そして周囲の人たちと共有する時間を持つためのきっかけにつなげてみてください。



「がん患者相談会」のご案内

当院では、がん患者さんやその家族を対象に、「がん患者相談会」を開催しています。この相談会は、がん治療を体験した仲間である「ピアサポーター」が、がん患者さんやその家族の不安や悩みについてお話をうかがい、一緒に問題解決の糸口を探していくものです。がんと言われて不安…、他の人はどうしているか知りたい…、治療中の食事はどうしたら良いだろう…など、がん治療を体験した方に聞いてみたいこと、聞いてもらいたいことを気兼ねなくお話しください。「ピアサポーター」は、1年間の養成講座を修了した方によって構成されていますので、安心してご相談ください。



「がん患者相談会」は、毎月第3金曜日の10：00～12：00に外来受付4 北側フリースペースで行っています。個室での相談も可能です。相談時間はお一人30分程度としています。予約は不要ですが、予約を入れていただいた方を優先とさせていただきます。

お問い合わせや予約は、がん相談支援センターへお越しいただくか、お電話でご連絡ください。

(TEL：0587-51-3346)

治療と仕事の両立のための工夫

近年の医療の進歩により、化学療法は外来で行われることが多くなり、これまでの生活を続けながら治療することが増えています。化学療法を受ける期間は、月単位、長い方だと年単位となるため、仕事との両立や復職時期など、多くの方が不安を抱えています。がん患者の約3人に1人が就労可能な年齢で罹患するにもかかわらず、2016年の調査では半数近くの方が治療開始前に退職していたと報告されています。この結果を受け、治療と仕事の両立が普通にできる社会となるよう、様々な取り組みが始まっています。辞めるかどうかは、病院の専門職とも相談した上で、会社と交渉してからでも遅くありませんので、「早まって仕事を辞めない」でください。

治療と仕事との両立を考えるためには、まず情報収集が必要です。これからの治療スケジュールだけでなく、通院のスケジュールも確認しましょう。治療日以外にも外来通院が必要な場合があります。また、どのような副作用がどの時期に生じやすいのかも確認しましょう。これらを仕事のスケジュールや仕事内容に照らし合わせることで、会社との交渉内容が少しずつ見えてきます。しかし、副作用の出方は個人差が大きいため、治療を受けないとわからないことも多くあります。いつどの副作用が出たのかを記録し、どの程度仕事に影響を及ぼすのかを考え、副作用対策や生活での工夫について専門職に相談するとよいでしょう。ご希望があれば、産業医（従業員50名以上の職場の場合）などの会社側の人間と話をすることも可能です。お一人で考え込まずに、私たち専門職にご相談ください。外来2階にある患者相談支援センター（がん相談）でも相談をお受けしておりますので、お気軽にご相談ください。



～臨床工学技術科のお仕事紹介～

“臨床工学技士”という仕事を御存じでしょうか？臨床工学技士（Clinical Engineer：CEとも呼ばれます）は1987年に国家資格となった『医療機器の専門職種』です。

病院では様々な医療機器が診断や治療に使用されています。身近なものだと、心電図や血圧を画面に表示するモニター、点滴を正確に注入してくれるポンプ・・・などでしょうか。他にもテレビドラマで時々見る電気ショックを体を与える機械（“除細動器（じょさいどうき）”と言います）や人工呼吸器なども思い浮かぶかもしれません。それ以外にも多種多様な医療機器が院内には存在し、それらを安全に管理し、使用する為に臨床工学技士は仕事をしています。

院内で使用される多くの医療機器はCEセンターで中央管理しています。各現場で使用された医療機器は、使用後にCEセンターに集められ、そこで臨床工学技士が清掃や点検を行い、清潔・安全な状態で次に使えるようにしています。

また、人工呼吸器など命に係わる機械も多い為、車で言う車検のような定期点検も行い、消耗部品の交換や機能・精度の確認も行っています。

保守や点検業務だけでなく、例えば救急・集中治療領域で用いられる機械の中には“生命維持管理装置”といって、患者さんの生体機能を代行するような機械（人工呼吸器、血液透析装置、補助循環装置等）もあり、そういった複雑な機械を使って治療する場合には機器操作や治療中の管理を医師と共にしています。

院内での様々な医療機器に対する要望に応えるため、昨年度からは24時間・365日院内常駐体制とし、医療機器のトラブル対応や緊急使用にも迅速に対応しています。

普段皆さんと直接お会いすることは少ないかもしれませんが、縁の下の力持ちとしてチーム医療の一翼を担い、安全な医療、質の高い医療の提供が出来るよう日々頑張っています。



院内コンサート Concert

毎月1回、13:30～ 2階の講堂で色々なジャンルのイベントを開催しています。入場無料ですので、お時間がある方は是非お越しください。

6月27日
(木)



奥村鋭男さん
演歌・日本舞踊

7月17日
(水)



ポロンポロン扶桑
ギターコンサート

8月22日
(木)



スズキ・メソード
ヴァイオリンコンサート

高校生のための看護職業体験を終えて

毎年夏休み恒例となりました、地元の高校生を対象にした『高校生のためのインターンシップ』を開催しました。江南、丹羽、尾北、小牧、岩倉総合、一宮北の各高校に加えて昨年度より大成高校も加わり、7月31日46名、8月21日36名と総勢82名のたくさんの学生さんに参加していただきました。

白衣に着替え、BLS（一次救命処置）や手指衛生、血圧測定などの体験を行いました。また、ベッドサイドでの看護ケアを通して、患者さんと触れ合いました。看護の現場を実際に体験することで、将来を考えるためにもとても有意義な一日となりました。また、8月7日には、愛知県ナースセンター主催の高校生1日看護体験研修も開催し、36名の高校生に参加していただきました。



2019 公開医療福祉講座

- 場所：江南厚生病院 2階講堂
 - 時間：13:30～14:30 (受付13:00～)
- お問い合わせは・・・江南厚生病院
「患者相談支援センター」堀田・梶原
TEL 0587-51-3310 (直通)

■ 日程と内容

10月10日(木)	乳がんの最新情報と検診のススメ	乳腺内分泌外科部長 飛永純一 看護係長 渡辺妙
11月18日(月)	冬の乾燥肌を起こりやすい皮膚のトラブルを防ぐスキンケア	皮膚・排泄ケア認定看護師 楓淳
12月 4日(水)	更年期 ～私らしく輝くために～	産婦人科 部長 木村直美

申し込み不要
参加費無料

仲間やがん詳しいスタッフと不安や悩みを語り合いませんか？

2019年度 がんサロン「にじの会」のご案内

- 対象 **がんを患っている患者さん**
あるいは、そのご家族
- 内容 10:00～10:30 プチ講座
(2か月毎に内容を変更します)
10:30～11:30 参加者同士の交流
- 場所 **外来2階 多目的室**
※外来用エレベーター前
- 参加方法 **自由参加(予約不要)**

日程とプチ講座のテーマ

日時	プチ講座：テーマ(仮)	担当
10/5(土)、11/5(火)	放射線治療の効果について	放射線技師
12/7(土)、1/7(火)	抗がん剤治療の今～副作用と生活の工夫～	がん化学療法看護認定看護師

<問い合わせ先> 患者相談支援センター：がん相談 TEL(0587)51-3346 FAX(0587)51-3317
E-メール:gansodan@konan.jaaikosei.or.jp

参加費
無料

● 保険証の確認について

当院では毎月一度保険証の確認を行っています。外来受診の際は各外来受付か新患受付へ、入院中の方はスタッフステーションに保険証をご提示ください。なお、氏名、住所、電話番号等の変更があった場合もご提示をお願いいたします。

● 面会時間のご案内

平 日	土・日曜日・祝日
15:00～20:00	13:00～20:00

※多人数室の面会は、同室の患者さんの迷惑にならないように談話コーナーなどをご利用ください。

※患者さんの安静は治療上大切です。容体によっては面会をお断りする場合があります。

2019年(令和元年) 診療日カレンダー

■ 休診日(第2・4・5土曜日は休診です) ■ 午後休診

10月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

11月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

12月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

発行日/令和元年10月1日

発行/JA愛知厚生連 江南厚生病院 広報委員会

〒483-8704 愛知県江南市高屋町大松原137番地 TEL(0587)51-3333 FAX(0587)51-3300